

塩尻自動運転コンソーシアム

令和 7 年度第 1 回全体会

2025/ 8 / 5 13:00-14:30

アジェンダ

1. 塩尻自動運転コンソーシアムの目的・位置づけ・推進体制

2. 令和7年度事業 定常運行

3. 令和7年度事業 国土交通省自動運転社会実装推進事業

4. その他 レベル4運行

アジェンダ

1. 塩尻自動運転コンソーシアムの目的・位置づけ・推進体制

2. 令和7年度事業 定常運行

3. 令和7年度事業 国土交通省自動運転社会実装推進事業

4. その他 レベル4運行

塩尻自動運転コンソーシアムの目的

- ✓ 自動運転技術の実用化に向けた包括連携協定（2020年1月締結）に基づき、連携企業とともに事業面・技術面・社会受容性面から自動運転サービス社会実装を検討し、具体課題に対応するために自動運転コンソーシアムを組成
- ✓ レベル4 含む自動運転サービス社会実装に向けた実装事業計画案等を作成するほか、社会実装の先を見据えた地域交通における自動運転の在り方についても検討を行い、持続的な研究開発及び社会実装を目指す

会員企業

幹事企業



一般財団法人
塩尻市振興公社
(事務局)



(自動運転実証総括)



三菱商事

(MaaS連携)



Building a better
working world

(事業推進)



(自動運転実証総括)

自動運転関連企業



(システム・車両開発)

Tomorrow. Together



(5G通信)



(信号機連携)



損保ジャパン

SOMPO Innovation for Wellbeing

(リスクアセスメント)



(管制システム)

地域交通事業者



(運行委託)

学識者



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

アジェンダ

1. 塩尻自動運転コンソーシアムの目的・位置づけ・推進体制

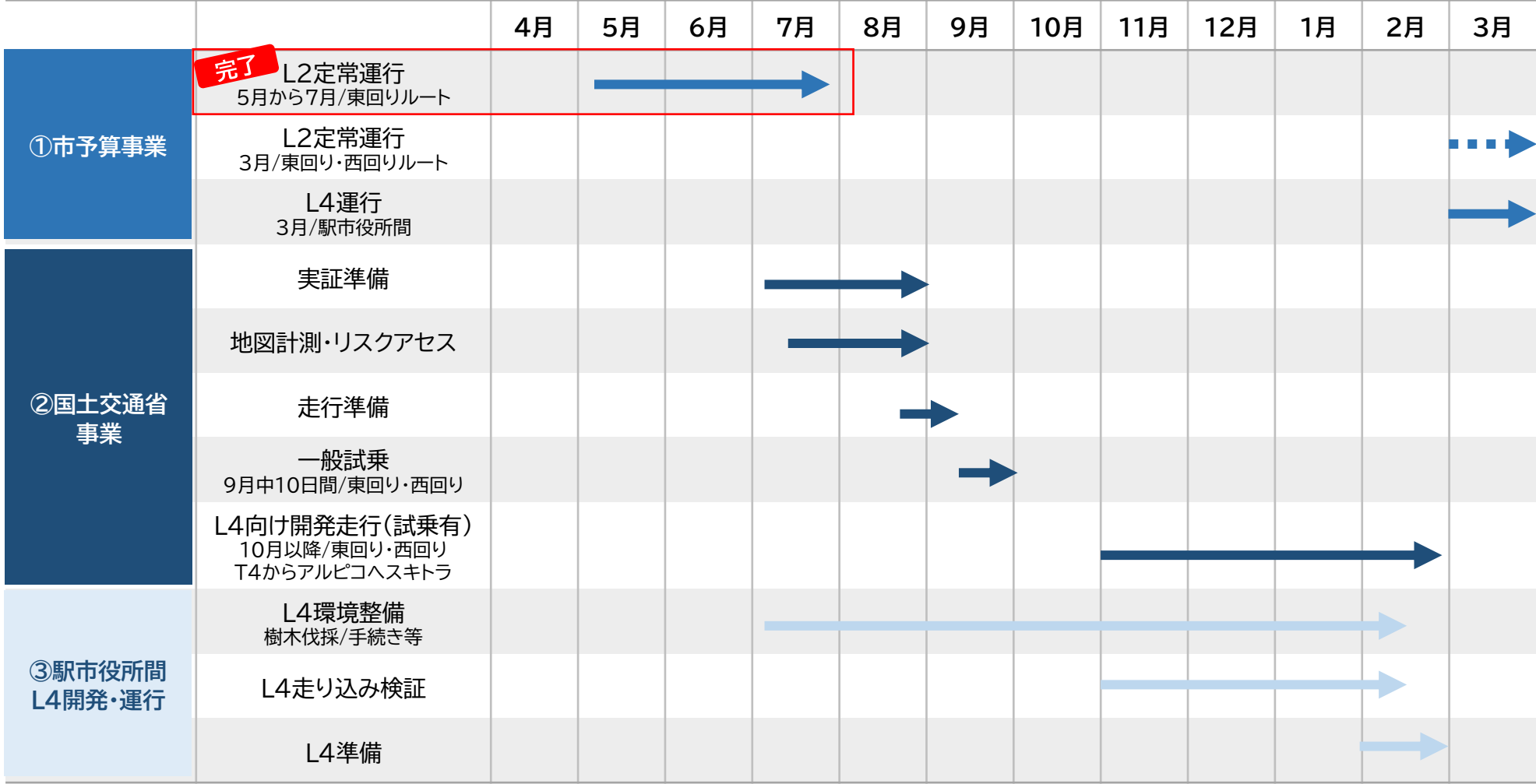
2. 令和7年度事業 定常運行

3. 令和7年度事業 国土交通省自動運転社会実装推進事業

4. その他 レベル4運行

自動運転事業 2025FY

事業全体スケジュール



概要

令和6年度レベル2走行ルートに基づき市単独予算による定常運行を実現し、同ルートにおいて大手小売店や地域商店と連携した小売連携施策、寄付金、協賛金、広告宣伝、視察、貨客混載等の収入拡大施策を実施する。

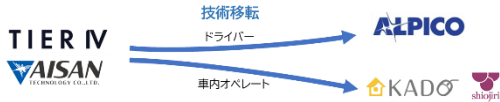
令和7年度5月開始 定常運行ルート



実施内容



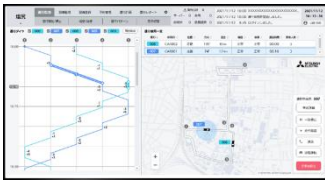
▲ティアフォー製Minibus



▲アルピコ・KADOによる定常運行



▲小売連携・寄付金・広告・協賛金による事業性確立検証▲



▲三菱電機製 運行管制システム▲

▶運行ダイヤ

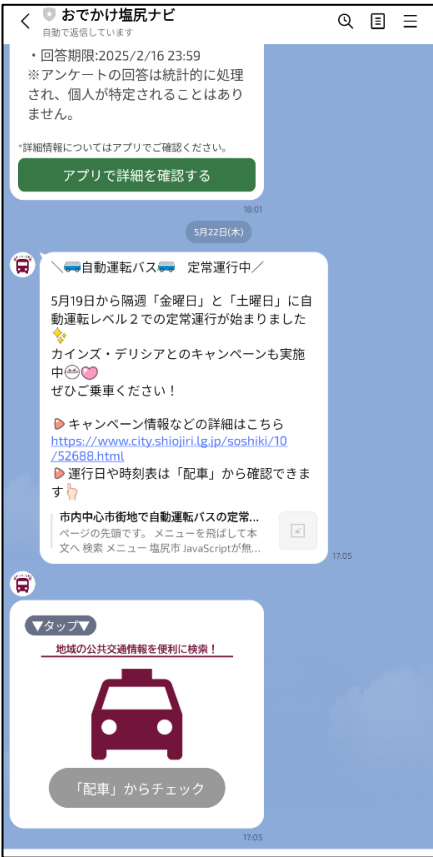
停留所	1便	2便	3便	4便	5便
①core塩尻	10:05	11:10	13:15	14:20	15:25
②塩尻駅	10:10	11:15	13:20	14:25	15:30
③カインズ・デリシア	10:20	11:25	13:30	14:35	15:40
④塩尻市役所	10:35	11:40	13:45	14:50	15:55
①core塩尻	10:40	11:45	13:50	14:55	16:00

- 塩尻市及びcore塩尻のHPに加え、連携事業者HPや塩尻市公式SNS等で情報発信
- 定常運行初日はマスコミ取材を受け入れ、当日から翌日にかけて新聞記事やニュースで事業周知

塩尻市SNS

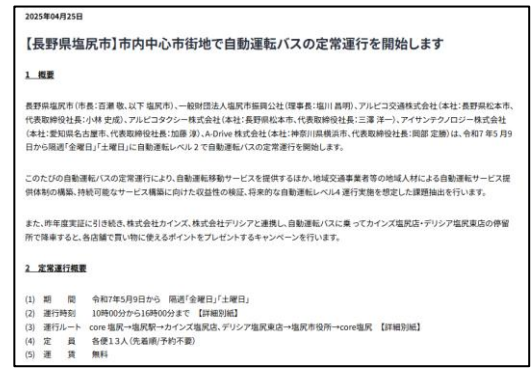


塩尻市公式SNS



おでかけ塩尻ナビ

連携事業者HP



アイサンテクノロジーイスタ



実施結果

- 5/9から7/19計12日間で244名が乗車。20名/日 乗車で推移
- キャンペーン利用、視察のほか、毎回乗車する固定客も生まれた

乗車数

日付	5/9(金)	5/10(土)	5/23(金)	5/24(土)
試乗者数(人)	18	22	22	44
日付	6/6(金)	6/7(土)	6/20(金)	6/21(土)
試乗者数(人)	14	16	27	13
日付	7/5(金)	7/6(土)	7/18(金)	7/19(土)
試乗者数(人)	8	24	17	19

試乗者コメント

- ロータリーで車線変更したことに感動した。回を重ねるごとに乗り心地も良くなっている(40代市内)
- 魅力的な試みだと感じるので、それが自分の住んでる場所で行われていて体験出来たのが嬉しい(40代市内)
- 漠然とした不安感を取り除くため、無料の乗車体験が積極的に開催されていることは意義ある。今後の展開に期待している(30代市内)
- 技術面で難しい所もありますが、実用化に期待している(40代市内)
- これからの課題はあるものの、目新しさや未来への希望を大きく感じた(50代市外)
- 新しい地域交通の形として非常に興味深い(20代女性)
- ブレーキがきつい(多数)

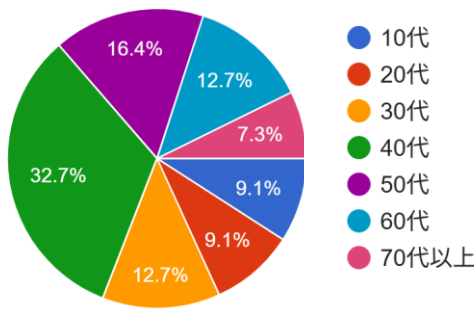
試乗の様子



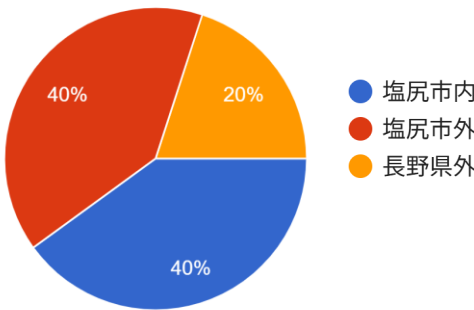
アンケート結果 利用者属性等

- 乗車のきっかけは「自動運転バスに興味があったから」が最も多く、全体の9割にのぼる
- 自動運転バスに乗って行った場所・施設はcore塩尻、カインズ、デリシアが多いが、乗降場所以外の店舗利用もある

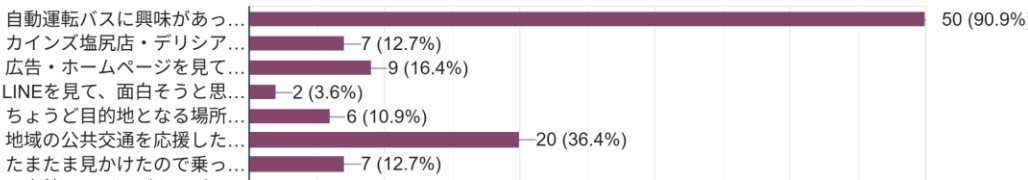
あなたの年齢を教えてください
55 件の回答



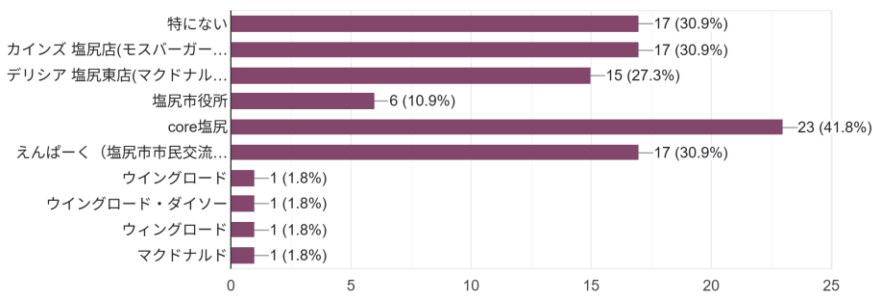
あなたの今のお住まいを教えてください
55 件の回答



自動運転バスに乗車してみようと思ったきっかけを教えてください (複数回答可)
55 件の回答



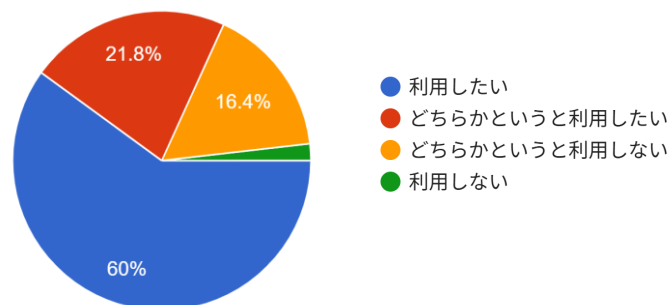
今回の自動運転バスに乗って行った店舗・施設を教えてください (複数回答可)
55 件の回答



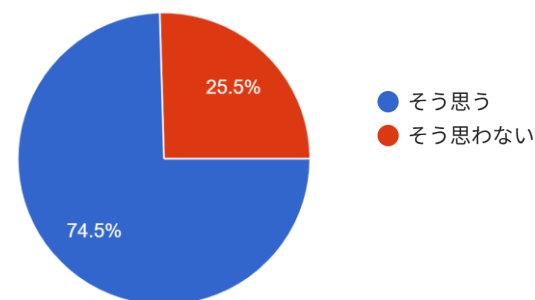
アンケート結果 利用者属性等

- 8割の方が再利用希望するとともに、定常運行や小売連携の実施が外出のきっかけにつながると回答
- 自動運転等の新たな交通サービスが魅力ある中心市街地の形成につながると期待されている
- 窓上の車内広告を見た方は6割弱にとどまる。全乗客が見るよう広告掲載方法の改善が必要

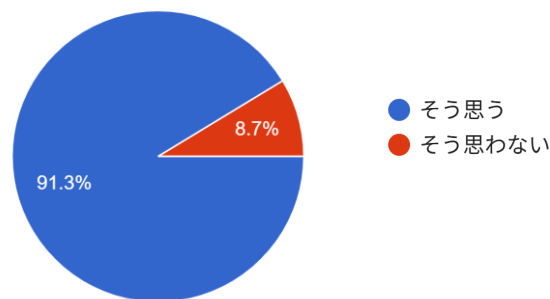
本日の自動運転バスを再度利用したいと思いますか
55 件の回答



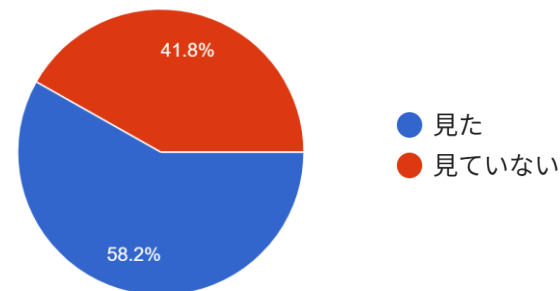
自動運転バスの定常運行やカインズ・デリシア等と...ンが、外出するきっかけになると感じますか？
55 件の回答



自動運転等の新しい交通サービスの取り組みによ...ある中心市街地が形成されていると感じますか？
46 件の回答



車内で企業・団体の広告を見ましたか [塩尻市 × デリシア × カインズ]
55 件の回答

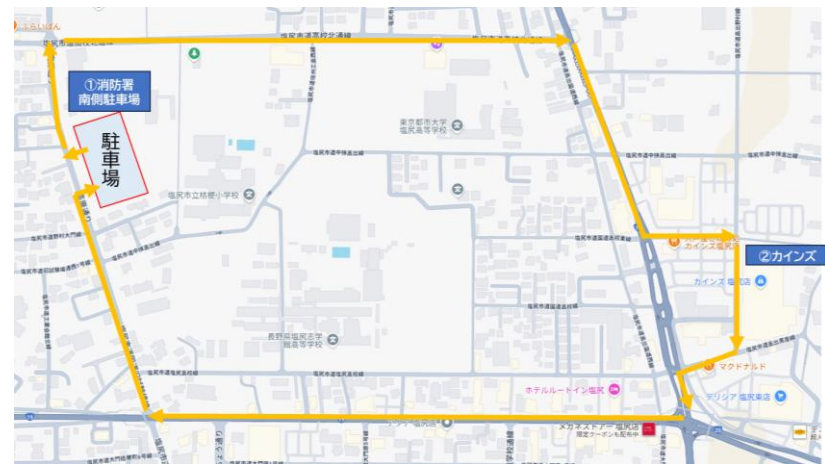


塩尻くみまちフェス

実施内容

- カインズ主催「塩尻くみまちフェス」開催に伴い、消防署南駐車場を起点とするパークアンドライド型運行を実施
- 乗車した方には定常運行時と同様、カインズ200ポイントプレゼントキャンペーンも開催
- 全11便運行、計75名が乗車。午前5便中2便はほぼ満席となった
- 家族連れ、若い夫婦、3世代、高齢者1名など、幅広い人が利用した

運行ルート



運行ダイヤ

	①消防署南側 駐車場発	②カインズ発
①	9:50	10:00
②	10:20	10:30
③	10:50	11:00
④	11:20	11:30
⑤	11:50	12:00
	休憩	
⑥	13:20	13:30
⑦	13:50	14:00
⑧	14:20	14:30
⑨	14:50	15:00
⑩	15:20	15:30
⑪	15:50	16:00

乗車数

	AM					PM					
運行便	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
乗者(人)	11	5	15	10	15	6	2	2	2	5	2

塩尻 くみまちフェス

公共交通を使ってイベントに行こう

開催日時 2025/7/6(日) 10:00~15:00

場所 カインズ 塩尻店内・駐車場

お得に来店

どちらかご利用のご来店で
1回1回
ご乗車につき
200
ポイント
プレゼント

のりこ
市内の
カインズ

運賃無料
自動運転車パークライド
または
臨時駐車場 カインズ
塩尻店南側駐車場

イベント

パンマルシェ
店内 10:00~ 売り切れ次第終了
地元で人気の
パン屋さん 7店舗

保護猫譲渡会
店内 11:00~13:00
TNR保護会
保護猫を譲るバザー

キッチンカー&クラフト
駐車場 10:00~15:00
おいしく楽しい
キッチンカー/クラフトカー
大集合

※参加店舗は予告なく変更となる場合がございます

塩尻市 x CAINZ

アジェンダ

1. 塩尻自動運転コンソーシアムの目的・位置づけ・推進体制

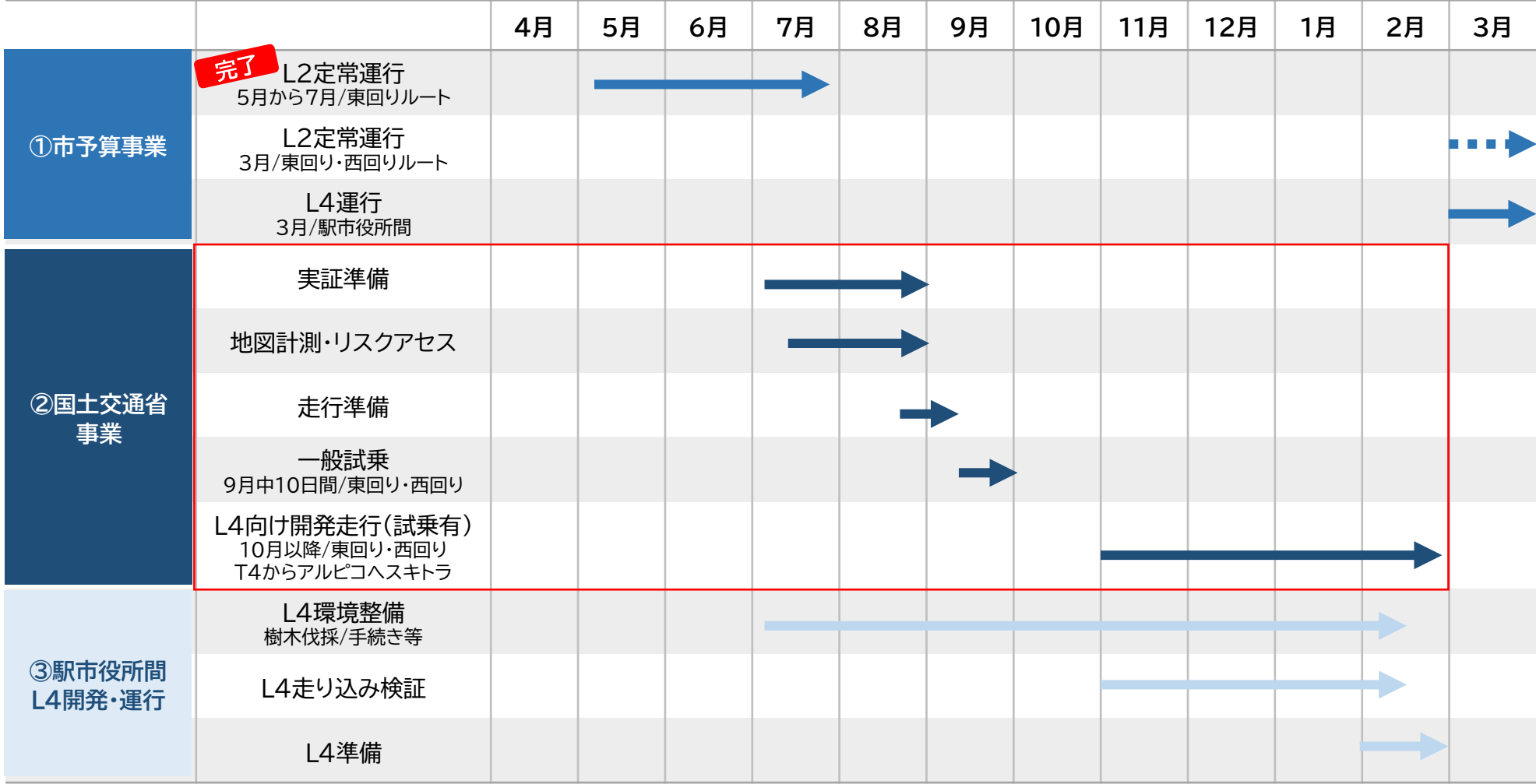
2. 令和7年度事業 定常運行

3. 令和7年度事業 国土交通省自動運転社会実装推進事業

4. その他 レベル4運行

自動運転事業 2025FY

事業全体スケジュール



公募概要

- ✓ 令和4年度から「自動運転実証調査事業」として実施。本市は過去3年連続採択
- ✓ 令和7年度公募では補助率が4/5、重点支援の創設、レベル4許認可取得済ルートは補助対象外等の変更あり

人手不足や交通事故の削減等、地域公共交通が抱える課題に対する解決手段として期待される自動運転について、地方公共団体による**レベル4自動運転移動サービス実装に係る初期投資**を支援します！

補助対象事業者

地方公共団体（都道府県・市町村）

補助率

4 / 5

対象事業イメージ

- ・定時定路線型の自動運転移動サービス
- ・専用道などを用いたBRT自動運転移動サービス
- ・特定のポイント間で運行するデマンド型の自動運転移動サービス 等

補助対象経費

- ・車両購入費・リース費
- ・車両改造費
- ・自動運転システム構築費
- ・リスクアセスメント、ルート選定等の調査費 等

支援の枠組み

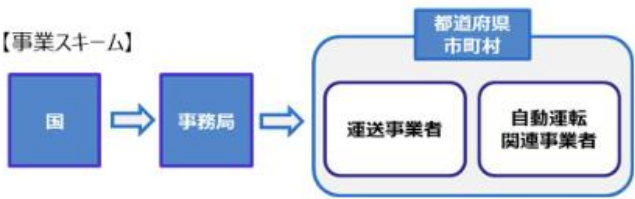
（1）重点支援（補助上限額：3億円）

- 地域公共交通の先駆的・優良事例として横展開できる事業
- （例）
- ・既存のバス路線を大型バスにより、自動運転化し大量輸送を確保し事業採算性を向上
- ・自動運転タクシーにより、個別輸送・面的輸送に対応できる機動的な移動サービスを実現 等

（2）一般支援（補助上限額：1億円）

- 上記を除く、早期にレベル4達成が見込まれる事業

【事業スキーム】



採択結果

- ✓ 27年度社会実装ルートレベル2走行、レベル4評価、事業性確保検証実証を提案(1.25億円)し、7/1付けで採択(補助上限額1.00億円)
- ✓ 国土交通省資料では67事業(重点支援13事業、一般支援54事業)に対して交付決定とリリースあり

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



Press Release

令和7年7月18日

物流・自動車局

技術・環境政策課

地域公共交通確保維持改善事業費補助金

(自動運転社会実装推進事業)の公募結果について

国土交通省では、「地域の足」「観光の足」の確保に向け、「交通空白」の解消や持続可能な地域交通の維持・活性化を図る事業について、「交通空白」解消等に向けた地域交通のり・デザインの全面展開のため、様々な支援をしています。

そのうち、自動運転社会実装推進事業においては、人手不足など地域公共交通が直面する課題に対応する手段の一つとして期待されている自動運転について、地方公共団体による自動運転移動サービス社会実装に向けた取り組みに対する補助を行っています。

今年度は、令和7年4月9日から令和7年5月12日まで公募を実施し、地方公共団体から申請のあった事業のうち、67事業(重点支援13事業、一般支援54事業)について事業対象として交付決定を行いましたのでお知らせいたします。国土交通省としましては、本事業等を通じて、引き続き、自動運転の社会実装に向けて取り組んでまいります。

●重点支援自治体	●一般支援自治体	
1 北海道上士幌町	1 北海道札幌市	31 愛知県豊田市
2 茨城県日立市	2 北海道千歳市	32 愛知県小牧市
3 茨城県境町	3 北海道当別町	33 愛知県日進市
4 東京都八王子市	4 青森県むつ市	34 三重県伊勢市
5 神奈川県川崎市	5 宮城県仙台市	35 三重県桑名市
6 神奈川県横須賀市	6 茨城県常陸太田市	36 三重県多気町
7 神奈川県平塚市	7 茨城県つくば市	37 大阪府堺市
8 岐阜県恵那市	8 栃木県※	38 大阪府河内長野市
9 京都府	9 栃木県※	39 兵庫県西宮市
10 兵庫県神戸市	10 栃木県小山市	40 兵庫県三田市
11 鳥取県米子市	11 埼玉県さいたま市	41 兵庫県養父市
12 愛媛県※	12 埼玉県深谷市	42 鳥取県鳥取市
13 愛媛県※	13 埼玉県和光市	43 岡山県津山市
	14 千葉県横芝光町	44 広島県東広島市
	15 東京都※	45 山口県
	16 東京都※	46 徳島県
	17 神奈川県横浜市	47 香川県坂出市
	18 神奈川県茅ヶ崎市	48 香川県三豊市
	19 新潟県弥彦村	49 愛媛県※
	20 石川県小松市	50 福岡県宗像市
	21 福井県越前市	51 佐賀県佐賀市
	22 福井県坂井市	52 熊本県熊本市
	23 山梨県富士吉田市	53 鹿児島県南さつま市
	24 山梨県甲斐市	54 沖縄県豊見城市
	25 長野県塩尻市	
	26 岐阜県岐阜市	
	27 静岡県静岡市	
	28 愛知県豊橋市	
	29 愛知県岡崎市	
	30 愛知県豊川市	

概要

地域住民の移動利便性向上、ドライバー不足解消のため、将来的なレベル4エリア拡大に向けたレベル2運行実証を実施するもの。あわせて昨年度実施した小売連携や寄付金等の事業性確立検証を実施する。

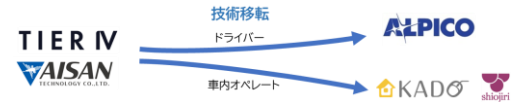
運行ルート



実施内容



▲ティアフォー製Minibus1.0



▲アルピコ・KADOによる運行

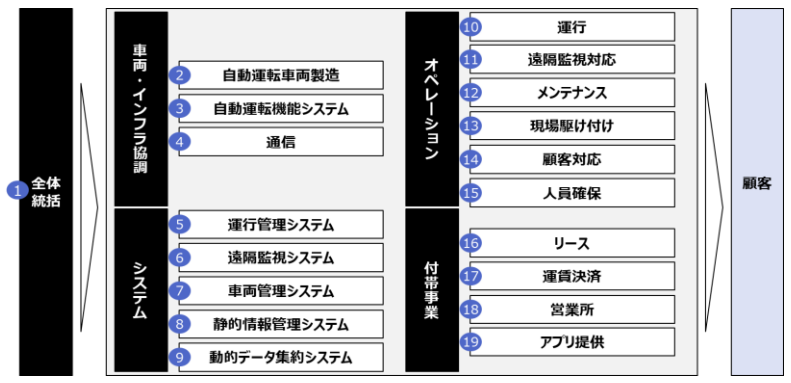
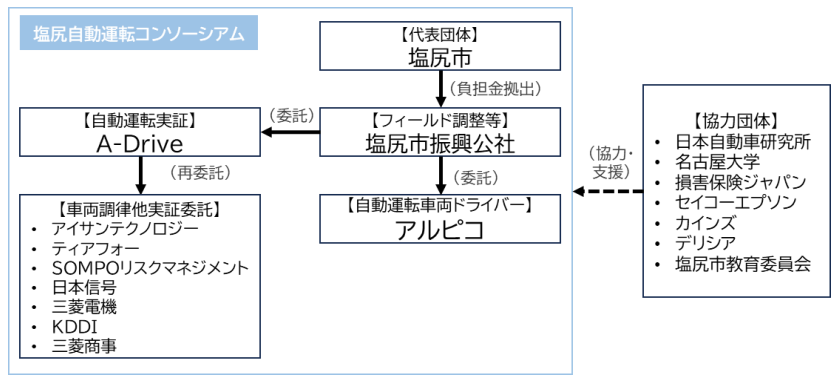


▲小売連携・寄付金・広告・協賛金による事業性確立検証▲



▲新規ルート上の事業者連携▲

実施体制



▲運営事業体構築に向けた要件整理▲

運行ルート



アジェンダ

1. 塩尻自動運転コンソーシアムの目的・位置づけ・推進体制

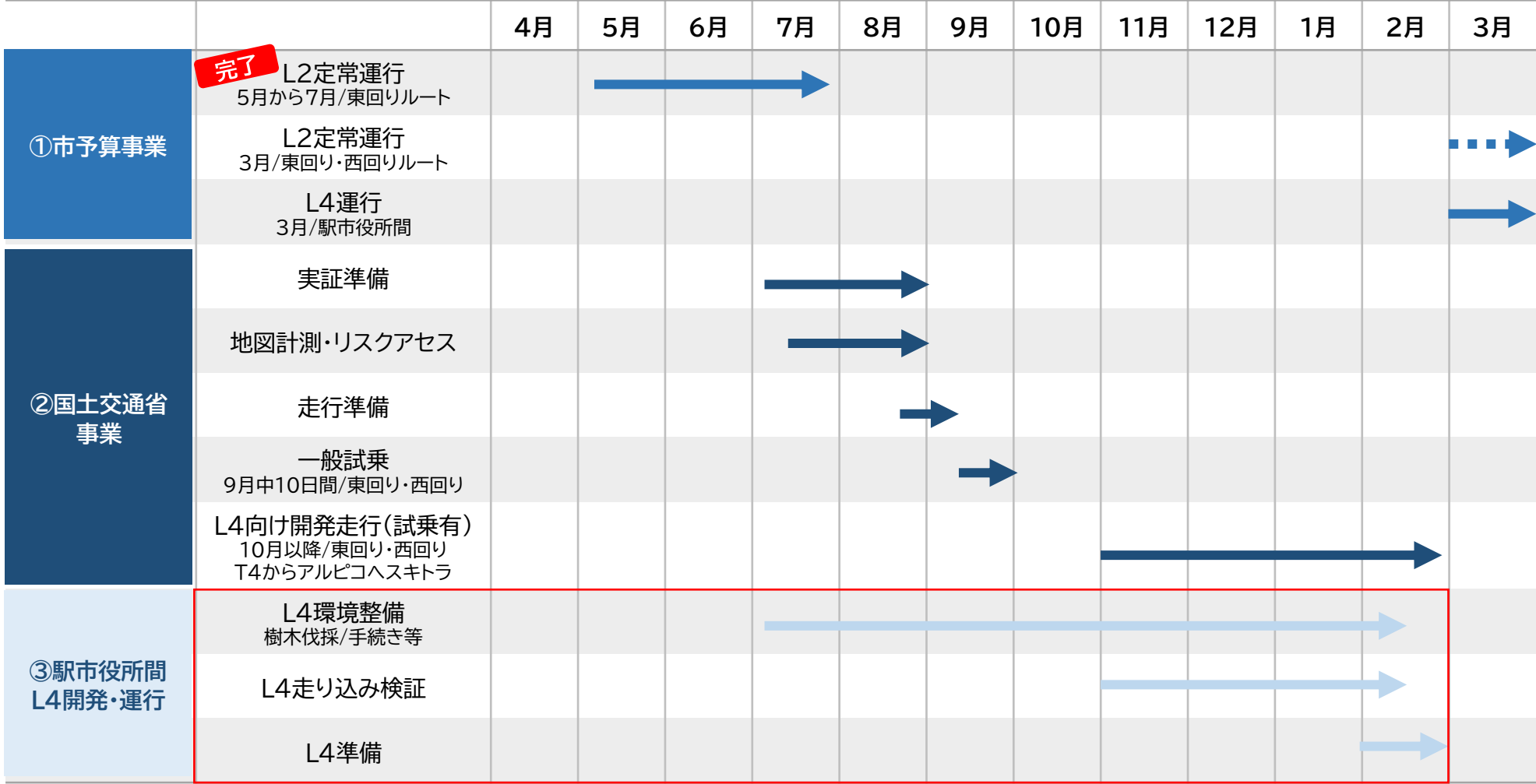
2. 令和7年度事業 定常運行

3. 令和7年度事業 国土交通省自動運転社会実装推進事業

4. その他 レベル4運行

自動運転事業 2025FY

事業全体スケジュール



実施内容

塩尻市における自動運転（レベル4）実装

- 運行ルート : 塩尻駅から塩尻市役所間の全長約 1.2km
- 運行時間 : 9時～17時の間から検討
- 運行車両 : Minibus2.0
- 運行形態 : 車内に管理者が存在、最高速度35km/h

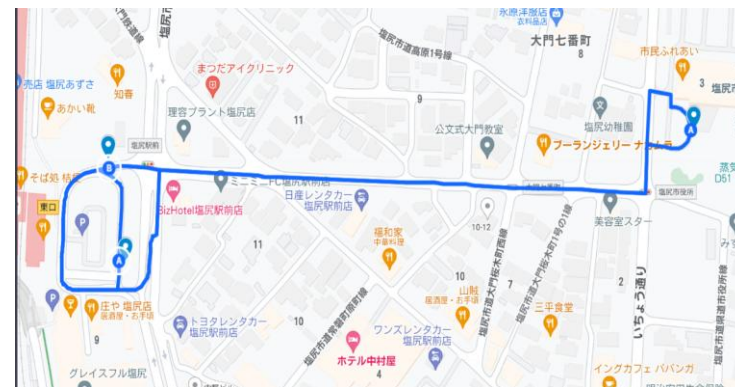
※「管理者」は乗客への対応や自動運転の開始、終了の手続きを行う者を想定



塩尻市



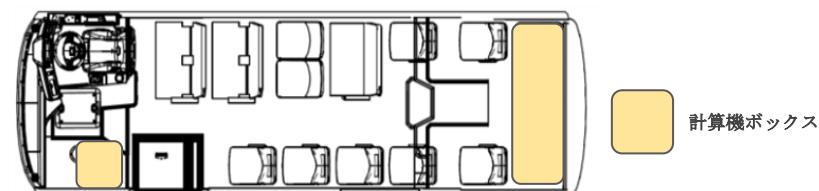
Minibus



走行経路

自動運転車両

車種	車名	J6
	車両	BYD製小型電気(EV)バス
仕様	LWH (mm)	7,240 × 2,300 × 3,060
	車両重量 (kg)	6,630
	乗車定員 (名)	客席15＋運転席1
バッテリー	種類	リン酸鉄リチウムイオン
	充電仕様	CHAdeMO 90kW
	充電時間 (h)	1.5
パワートレイン	駆動用モーター (kW)	140
ブレーキ	ブレーキ方式	エアブレーキ
走行	走行速度 (km/h)	0 ～ 35 ※手動運転時は最大70km/h
	最小回転半径 (m)	7.9
	航続距離 (km)	～200 (参考値)



走行環境条件

- 地域住民の交通利便性向上のため、自動運転バスを定期運行
- 車両に搭載された自動運行装置は、あらかじめ決められたルート上を走行するもので、周囲の車両や歩行者が存在する混在交通空間において自動運転を行うもの

主な走行環境条件

道路状況及び地理的状况

(道路区間)

- 塩尻駅から塩尻市役所間の循環経路約 1.2km

(道路環境)

- 自動運行装置に記録された地図情報に対して、道路環境の変化がないこと
- 信号機連携(V2I)が利用可能であること

環境条件

(気象状況)

- 周辺の歩行者等を検知できない強い雨や降雪による悪天候、濃霧、夜間等でないこと

(交通状況)

- 緊急自動車が走路に存在しないこと

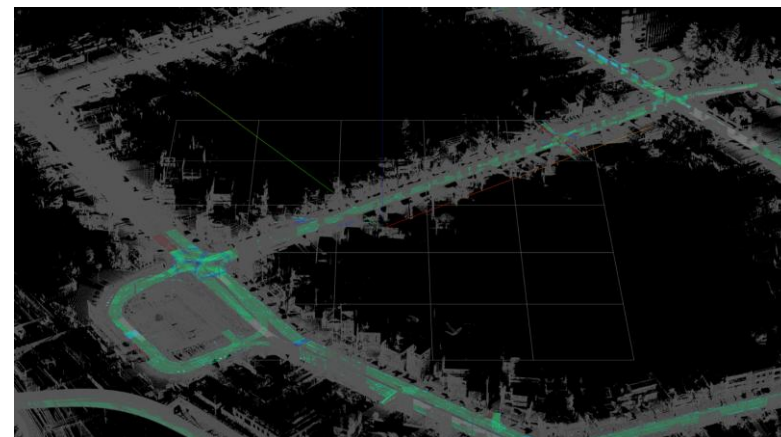
走行状況

(自車の速度)

- 自車の自動運行装置による運行速度は、35km/h以下であること

(自車の走行状況)

- 路面が凍結する、路面積雪があるなど不安定な状態でないこと



走行環境の全体像

走行環境内の障害物



大・中型車



乗用車



バイク



自転車



歩行者



コーンなど



草・木など



信号機連携

現在の信号灯色と信号切り替わりまでの残秒数の信号情報を自動運転車両に通知

